

令和2年 第6回（12月） 筑紫野市議会定例会
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

議案第67号及び議案第68号の2件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第67号 指定管理者の指定』の件について、ご報告いたします。

本件は、筑紫野市勤労青少年ホーム、筑紫野市農業者トレーニングセンター、筑紫野市筑紫運動広場、筑紫野市御笠運動広場及び筑紫野市山家スポーツ公園の5施設の指定期間が令和2年度末で満了となることから、令和3年度から令和7年度までの指定管理者として、一般社団法人筑紫野市体育協会を指定するものです。

委員会では、指定管理者は利用者との信頼関係をどのように構築しているのかとの質疑があり、執行部からは、利用団体との情報交換を緊密に行い、各団体の年間行事に合わせて利用日程を調整している。また、利用者の意見を取り入れながら、施設の整備等を行うことで利便性向上に努めているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第68号 指定管理者の指定』の件について、ご報告いたします。

本件は、筑紫野市文化会館の指定期間が令和2年度末で満了となることから、令和3年度から令和7年度までの指定管理者として、公益財団法人筑紫野市文化振興財団を指定するものです。

委員会では、指定管理者には、どのような技術と能力が備わっているのかとの質疑があり、執行部からは、文化会館を運営する技術や、文化事業の企画運営、貸館事業の技能などが備わっており、運営スタッフの対応が良く、利用団体に高い評価を受けているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和2年 第6回（12月） 筑紫野市議会定例会
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

『議案第72号 令和2年度筑紫野市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

執行部からは、歳入歳出をそれぞれ168万3千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ67億937万3千円とするものであり、補正の主な内容は、歳出については、介護報酬改定等に伴うシステム改修業務委託料220万円の増額などであり、歳入については、同システム改修に対する、国庫補助金110万円の増額などである、との説明がありました。

また、債務負担行為の補正として介護予防・日常生活支援総合事業委託など10件を計上しているとの説明がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和2年 第6回（12月） 筑紫野市議会定例会
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

『議案第79号 令和2年度筑紫野市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本件は、令和2年人事院勧告を踏まえた給与改定に伴うものであり、職員手当など、23万5千円減額し、一般会計繰入金と同額、減額するものです。

質疑、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和2年 第6回（12月） 筑紫野市議会定例会
【文教福祉常任委員会 委員長報告】

『請願第1号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に関する請願』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

委員会ではまず、本件に関する現状等について執行部から、学校では、児童生徒を取り巻く環境等が複雑化、多様化しており、教職員定数が改善されれば、より安定した学級運営が行われると考えられることから、教職員定数等の充実、改善について、本年、福岡県市長会へ議案を提出しているとの説明を受けました。

委員会では、文部科学省が平成29年から10か年計画として「次世代の学校」指導体制実現構想を策定しているが、本市の状況は、計画の策定前から実感として改善されているのかとの質疑があり、執行部からは、計画期間の最中ではあるが、コロナ禍などもあり策定前から、実感としては改善までには至っていないと捉えているとの説明がありました。

意見、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって採択すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。